

やさおの水道について知ろう!

前回（水道だより No.73）は、水道水をご家庭などに送り届けるためにかかるお金（費用）について学びました。

今回は、水道部に入ってくるお金（収益）について勉強していきましょう。



出ていくお金の話は教えてもらったけど、入ってくるお金の話は聞いてなかったね。水道部ではどうやって必要なお金を集めているのかな？

水道部で集めている主なものとしては、皆さんからいただいている水道料金があります。



その水道料金はどんな仕組みなの？

八潮市の水道料金は、基本料金（水の使用がなくてもかかるお金）に従量料金（使用水量に応じてかかるお金）を加えて計算しています。この料金は、皆さんの敷地に設置している水道メーターの口径によっても違いが出てきます。

一般的なご家庭を例にあげてみましょう。水道メーターの口径が20ミリメートルで、2か月の使用水量が40立方メートルだったとすると、基本料金が2,750円、従量料金が3,300円となり、合計額は6,050円となります。1か月分に換算すると3,025円です。



そうなんだー。じゃあ、1年間で水道部に入ってくる水道料金の合計額はどのくらいになるのかな？

令和6年度の水道料金は約16億7,177万円で、水道部の収入のほとんどを占めています。



その他にはどんな収入があるのかな？

その他の収入としては、借入金（工事を行う際に借りることができるお金）1億8,000万円、分担金（水道を利用したい人が申込みをした際に支払うお金）1億2,677万円などがあります。（3ページの決算資料を参照）



水道部ではこういったお金を使ってそれぞれの家庭などに水道水を送り届けているんだね。これからもお金を大切に使って、みんなが安心して水道水を使い続けられるようにしてね!

もちろんです。ただ、令和8年4月以降は、埼玉県から水を買うお金が値上げになってしまいます。今後も効率的なお金の使い方についてよく考え、無駄な支払いが出ないよう引き続き努力していきますので、皆さんのご理解ご協力をお願いします。

【お問い合わせ】経営課 経営総務担当